

## 「食ケア：食べるよろこびを支え合う技術班」 紹介&達人ナースの技を体感しよう！活動報告

～技術研究成果検討委員会新班の発足記念として～

開催日時：2024年10月26日（土曜日）14:30～15:30  
場所：札幌市教育文化会館 第5会場（研修室302号）  
技術班：◎迫田、芳村、田中、竹市、定松、田畑、原、山田、  
川端、杉山、水戸、大久保（協力者：三角さん）  
会場参加者：40数名

技術研究成果検討委員会の新たな班活動として「食事ケア：たべるよろこびを支え合う技術班」を本年4月から15名でスタートしました。

本交流セッションでは、“ケアする人もケアされる人も食べるよろこびを支え合い成長できる”を願い、1. 食事ケア班の発足背景と活動概要の紹介、2. 食事の安全・安楽を引き出すポジショニングの技の紹介、3. 食べるよろこびを支える食事介助の技の実演、4. みんなで語りあおう！を企画しました。当日は、総勢40名の参加者+班メンバーにより熱気あふれる会場の様子を報告をします。



講演者：迫田班長



講演者：定松さん



講演者：竹市さん



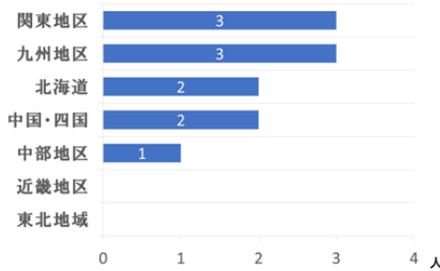
(左写真) 講演時の会場の様子



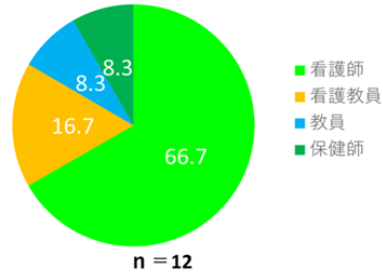
(右写真) 会場参加者と一緒に実演

🌸 アンケート結果 🌸 (回答者:12名)

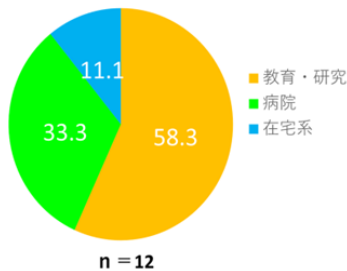
1. 貴方の勤務する地域を教えてください



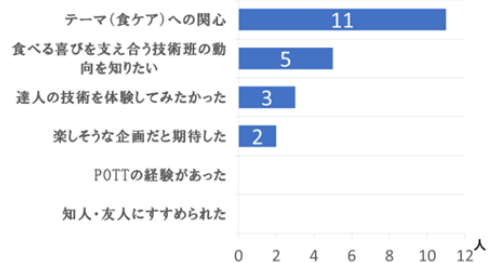
2. 貴方の職種を教えてください



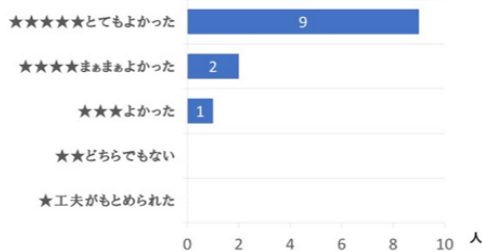
3. 貴方の看護活動分野をお教えてください



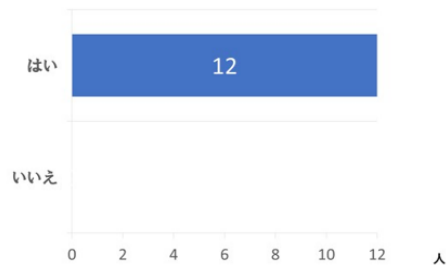
4. 交流セッション④への参加の動機を教えてください (複数回答)



5. 交流セッション④への感想を★の数で教えてください



6. 次年度の開催を希望されますか？



7. 今後貴方の地域や施設で食ケア(ポジショニング食ケア・食事介助など)の開催を希望されますか



### ✿交流セッション参加者の感想✿

- 姿勢の重要性を知りました
- 上を向いた姿勢での食事介助が印象的でした
- バスタオルでも姿勢を正せる。食事は食べさせられることをあきらめないという強い意志、ありがとうございました
- 嚥下やポジショニングについての知識はあったが、体がどう動くかを細かく感じられていなかったことに気付き驚いた
- 上半身には枕を入れて姿勢を整えるよう意識していたが、車椅子の座面まで意識してなかったため、臨床の場で実践しようと思います

### ✿技術班メンバーによる反省・感想✿

- ピンクのシャツも目立つ色とデザインで良かった
- 後ろの人にバスタオルが不足した。ただ、カバーできることも工夫できていた
- コードのトラブルで、時間開始が遅れた、スポットはよく映っていた
- 日本看護技術学会の理事長も参加者の多くに驚かれていた
- 交流セッションの前の開催が少なかったため、心配していた
- 元気で、パワフルな技術班である
- 荷物の準備・後片付けが大変で、ご苦労様であった
- エネルギーを貰った
- 初めて会った方々だけど、初めての気がしなかった。チームワークがよかった
- それぞれに各自の判断で動いて、意味があった
- 反応が双方向でよかった。満足度は高かった。工夫が一つ
- スプーンの深さが「分かっていない」
- 座面の調整でも「きっかけ」づくりにつながった
- 北海道、食事ケア班の村松先生に、ご参加を頂いて嬉しかった
- 山川先生（帯広）の参加もありがたかった

参加者アンケート結果、班メンバーの反省・感想にありますように、交流セッションでともに学びあうことで、知識・技術が磨かれた上に、これからも取り組んでいく元気と勇気をもらいました。まさに本セッションがめざした「ケアする人もケアされる人も食べるよこびを支え合い成長できる」ことにつながったと思います。

私たちはこれからも交流セッションや研修会を企画しています。参加者の皆様、誠にありがとうございました。



川嶋先生、山川先生にもご参加いただいて技術班メンバーで記念撮影！